（一社）日本臨床耳鼻咽喉科医会
令和 6・7 年度第 10 回理事会議事録摘録
令和 7 年 12 月 21 日(日)　13:00～16:10（臨床耳鼻科医会会議室）
出席者 会長：川嵜良明　副会長：川島佳代子、藤岡　治、(Web 参加）野上兼一郎
理事：朝比奈紀彦、麻生　伸、阿部博章、市川菊乃、大滝一、塩見洋作、玉木克彦、
中澤　宏、永田博史、春名真一、松岡　徹、宮部和徳、横田雅司、吉村　理
監事：浅井英世、髙原哲夫（計 20 名）事務局：井出あゆみ、平間妙子

会長挨拶
令和 8 年度診療報酬改定の本体改定率が+3.09％と発表されているが、賃上げに対し 1.7％、物価高騰対策に 1.29％と言われてもいるので減少分と合わせた 0.25％程度がどの様な内容になるかはまだ不明で心配である。また OTC 類似薬 77 成分・約 1,000 品目の保険適応からの除外はなくなったが、薬価の 1/4 を追加負担とすると言われているので、対応策の会員周知を考えたい。

協議事項
1.医療安全・感染防止講習用動画リストの追加について（塩見理事）
①「外来感染対策向上加算」の算定要件としての研修は、必ず「自院で」実施しなければならない、という基準が設けられているので、感染防止対策・医療安全対策研修用の動画コンテンツリストを既に HP に掲載しているが、今回は簡単な内容を追加した。
②感染防止対策のコンテンツを追加し、研修記録用紙のワード版も追加した。
③医療法上すべての診療所に実施義務があるので、新しいコンテンツには New の目印をつけ、コンテンツの説明を加えてまとめたものを HP に掲載することが承認された。
2.1)現役の C 会員の年会費について（松岡理事）
①日耳鼻退会により A 会員からは種別変更となり議決権等がなくなるも、現役の診療を行っている場合は A 会員と同額の年会費とすることを提言した。
②C 会員の年会費を現役の診療を行っている場合と退職している場合の２種類に分けることが協議の結果承認された。
2.2)入会金及び入会規程改定について（松岡理事）
・C 会員の年会費を現役の診療を行っている場合と退職している場合の２種類にわけることにつき令和 7 年度定時代議員会で協議することが承認された。
2.3)C 会員への異動希望者（1 名）について（松岡理事）
・保留事項となっていた兵庫県西村俊二会員の C 会員への異動が承認された。
2.4)賛助会員入会希望について（松岡理事）
・マキチエ株式会社の賛助会員として入会希望に関して協議し承認された。
2.5)就労規則の作成について（松岡理事）
・「就業規則」案と「給与規程」案を提示し内容を確認の上、施行日は本理事会開催日の令和 7 年 12 月 21 日として採用することが承認された。
3.ステロイド製剤の適応削除に関して（玉木理事）
①令和 7 年 11 月にファイザー製薬からステロイド薬の保険適応削除の通知があった。
②耳鼻咽喉科に関しては、ソル・コーテフ注射用 100mg とデポ・メドロール水懸注 20mg、40mg のアレルギー性鼻炎と花粉症に対する筋肉内注射が適応から削除された。
③ケナコルト A 水性懸濁注射液は適応が残っているが保険医療委員会としてはステロイドの筋肉内注射は好ましくないとの考えがある。

④会員向け周知文書を医会 HP 会員ページに掲載し、ファイザー製薬の通知文書もリンクに貼ることを含めて承認された。

4.福祉医療成人老年委員会委員増員について（大滝理事）

・山田浩之会員が委員となることが確認された。

5.1)第 7 回日本臨床耳鼻咽喉科医会セッションのテーマ案（吉村理事）

①2026 年度の第 7 回医会セッションから 2 日間で 3 枠となる。

②協議の結果、勤務医委員会枠は千葉大学特任教授吉村謙佑先生、厚労省および国会議員枠は上川陽子議員に依頼することになり、学術枠は会長、副会長、医会セッション実行委員長の宮部理事、学術担当理事で検討することになった。

5.2)医会 HP 内の嚥下パンフレット簡易版作成について（吉村理事）

・患者説明用嚥下パンフレット PDF 簡易版を HP に掲載することが承認された。

6.会報第 6 巻第 1 号について（宮部理事）

1)協議により掲載内容と投稿規定を作成することが承認された。

2)文献の表示について、医中誌にある「日臨耳鼻医会報」を使用することが確認された。

7.役員選任の通知について（藤岡副会長）

・令和 8 年 5 月 20 日の定時代議員会で令和 8・9 年度の役員（理事・監事）の選出を行う。そのため役員選挙管理委員会委員として河合 真会員、末吉誠一会員、中村昌彦会員に業務遂行を依頼することが承認された。

8.耳鳴り治療器等の適正な供給および広告について（川崎会長）

・補聴器工業会から「耳鳴り治療器等の適正な供給および広告について」として報告書が提出され、協議により定期メールで会員周知することが承認された。

9.秋季大会の費用負担について（川嵜会長）

①秋季大会の医会セッション演者の講演料と交通費は臨床耳鼻科医会が負担している。

②協議の結果会場費も負担する方向で日耳鼻へ返答することが承認された。

10.「点数一覧表」の発行について（川嵜会長）

・医会長会議などで要望のある「点数一覧表」の発行に関し、現存する点数解説冊子のデータ化を含め協議し、内容を吟味して「点数一覧表」冊子を作成する事業を行うことが承認された。

報告事項（委員会および地域ブロック）

1.庶務委員会（松岡理事）

(1)令和 6・7 年度第 9 回理事会議事録（2025.9.7）について報告した。

(2)令和 7 年 11 月 30 日までの入会・退会・異動および会員数を報告した。

・入会 63 件、異動 43 件、退会 28 件があり、令和 7 年 11 月 30 日現在 A 会員 4,180 名、B 会員 2,927 名、C 会員 6 名、計 7,113 名であった。

・令和 7 年 7 月 31 日からの会員数増減は、A 会員 17 名減、B 会員 28 名減、計 45 名減であった。

(3)千葉県耳鼻科医会からの退会承認依頼について

・千葉県耳鼻咽喉科医会から令和 5 年度および令和 6 年度の 2 年度分の会費未納の A 会員 2 名と B 会員 2 名計 4 名の定款に定める資格喪失手続きを行うことを報告した。

2.広報委員会（中澤理事）

・HP のアップデートを素早く的確に行うために、制作会社の変更候補を 3 社に絞った。

3.経理･会員福祉委員会（塩見理事）

(1) 令和 7 年 11 月末までの会計報告を行った。

4. 地域医療委員会（横田理事）

(1) 第 6 回地域医療委員会(第 5 回日耳鼻・臨床耳鼻科医会合同委員会)について

・令和 8 年度日耳鼻総会の未来ビジョン枠(75 分)で地域医療委員会が講演を行うこととなった。

(2) 第 9・10 回アンケート総括について

・令和 7 年に施行した「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外来診療アンケート」の結果を、「新型コロナウイルス感染拡大に伴う外来診療アンケート調査の総括」として会報に掲載する。

5. 保険医療委員会（玉木理事）

(1) 第 7 回保険医療委員会を開催した。

①国立成育医療研究センター　女性の健康総合センター　妊婦と薬情報センターから「医療用医薬品添付文書の妊婦に関する禁忌等の記載内容の変更を希望する薬剤調査」への協力依頼が日耳鼻保険医療委員会にあった。

②保険医療全国協議会の質疑に対する回答を検討した。

(2) 第 21 回全国協議会を開催した。

(3) 第 8 回保険医療委員会を開催した。

① 保険医療委員会ワークショップ・全国会議の開催方法およびプログラム内容が決定した。

② 第 21 回全国協議会の最終的な回答について

・鼓膜穿孔のない先天性真珠腫に中耳ファイバースコピーが認められるかについては、鼓膜穿孔があることが必要条件であると判断された。

6. 学校保健委員会（朝比奈理事）

(1) 令和 6・7 年度第 5 回学校保健委員会につき報告した。

・令和 7 年度学校保健全国代表者会議ならびに学校保健研修会について内容を確認した。

(2) 文部科学省「学校における持続可能な保健管理の在り方に関する調査検討会」関連団体等へのヒアリングで、今回は耳鼻咽喉科のヒアリングが行われた。

① 健康診断実施や学校医確保等について、現状の把握と問題点の検討が必要なので、以下について検討することとなった。

・学校における健康診断の今日的意義の再確認
・児童生徒等の健康課題の変化、学校医等の確保が困難にある状況、学校における働き方改革等を踏まえた実施項目・実施方法
・児童生徒等のプライバシーへの配慮等適切な実施方法などの健康診断の在り方
・養護教諭や学校医等の学校における保健管理を担う者の負担軽減

② ヒアリングでの主な発言内容

・耳鼻咽喉科学校健診は、健診を担当できるマンパワー不足が最大の課題である。
・学校医の高齢化・新規学校医のなり手不足によって、更なる情勢深刻化が懸念される。
・耳鼻咽喉科領域の学校健診は耳鼻咽喉科医が行うべきである。耳鼻咽喉科領域の学校健診には専門的知識と診療技術が必要であり、特に“聴覚”と“音声言語”に関するコミュニケーション障害を専門的に診断・支援できるのは耳鼻咽喉科医である。
・最終的な目標は「耳鼻咽喉科学校医配置 100%」「全学年全員健診」であるが、当面は「耳鼻咽喉科医による学校健診実施率 100%」を目指していく。

③ 「学校健康診断は 6 月 30 日まで」との規定は緩和される可能性がある

④ 学校健診に関し、学校医および教職員の負担軽減のために「全学年全員健診」の原則も見直される可能性がある。

(3) 「耳鼻咽喉科健康診断マニュアル 2025 年改訂第 2 版」発行について

学術委員会から示された意見について検討し、加筆・修正後「2025 年改訂第 2 版」として学術委員会で再度評価を受け、日耳鼻理事会にて日耳鼻公認と決定した。

(4)「難聴の児童生徒へのきこえの支援　令和 7 年度版」発行について

・日本学校保健会の「難聴の予防・啓発指導資料」作成委員会が作成中である。

・令和 8 年 1 月末に最終校確認とし、完成した冊子は 3 月末に全国の教育委員会、公立学校へ配布予定であり、デジタルデータは日本学校保健会ポータルサイトで公開予定である。

(5) 「ヘッドホン・イヤホン難聴」啓発資料の公開について

・日耳鼻 HP からヘッドホン・イヤホン難聴啓発資料がダウンロード可能となり、ダウンロードの際は「ダウンロード規約に同意する」にチェックを入れる。

(6) 令和 8 年度学校保健講習会（日本医師会主催）を令和 8 年 4 月 19 日に日本医師会館大講堂で開催予定。

(7) 「第 15 回子どもとメディアの問題に関する懇話会」への出席について

令和 8 年 1 月 10 日（土）に開催予定で、出席依頼を受け日耳鼻・臨床耳鼻科医会合同学校保健委員会から藤岡治日耳鼻理事、臨床耳鼻科医会副会長・朝比奈紀彦臨床耳鼻科医会理事の 2 名が出席予定である。

7. 福祉医療成人老年委員会（大滝理事）

(1) 令和 6･7 年度第 4 回 日耳鼻･医会合同福祉医療・成人老年委員会について報告した。

① 令和 7 年度福祉医療・成人老年委員会全国会議を令和 8 年 1 月 24 日（土）東京にて開催する。

② 第 51 回福祉医療サマーセミナーおよび第 31 回補聴器キーパーソン全国会議を令和 8 年 6 月 21 日（日）に AP 浜松町で開催する。

③ 補聴器相談医運用細則の改訂について検討した。

8. 福祉医療乳幼児委員会（麻生理事）

(1) 令和 6・7 年度第 10 回乳幼児委員会について報告した。

① サマーセミナーの内容について

② 第 127 回日耳鼻総会での未来ビジョンについて

③ 令和 7 年度福祉医療・乳幼児担当者全国会議について

④ 1 歳半健診・3 歳児健診について

⑤ 各ＷＧの進捗状況報告があった。

⑥ 新生児聴覚スクリーニングマニュアル改訂について

当初は産科施設の医療従事者向けに耳鼻咽喉科からの提言内容を加えた内容となっていたが、サイトメガロウイルス検査のフローチャートなどについても追加することになった。

9. 医療安全・医事問題委員会（阿部理事）

(1) 令和 6・7 年度第 5 回医療安全・医事問題委員会について報告した。

報告事項

① 令和 7 年度医療事故調査制度に係る「管理者・実務者セミナー」について 12 月 7 日の現地開催ならびに 2026 年 3 月までの e ラーニングで受講可能。

② 『医療事故の再発に向けた警鐘レポート No.4　気管切開後早期のチューブ逸脱・迷入によ

る死亡』事例に関し報告があった。

協議事項

① 令和 7 年度医事問題委員会ワークショップおよび全国会議について

② 医療事故に関するアンケート調査について

・年間報告は以下のとおり：継続中 70 件、紛争に至らず 22 件、新規報告 30 件

・5 年間進展が無く経過した 20 症例につき審議を行い、13 件を調査中止とした。

③ 第 40 回日耳鼻秋季大会における医療安全セミナーのプログラムについて

・領域講習は鼻領域を扱うこととした。

・共通講習は、最新の話題性を重視しＡＩ・ＤＸテーマが最有力として支持された。

④ その他

・ヒヤリハットの収集法について Google フォームや QR コード型アンケートなどの活用も検討していく。

10. 勤務医委員会（永田理事）

(1) 令和 6・7 年度第 4 回勤務医委員会について報告した。

報告事項

① 次号会報「勤務医のページ」の執筆者については、小林一女先生・塚谷才明先生より承諾を得た。

② 「勤務医のライフプランの立て方」は Web 講演会ではなく秋季大会の医会セッションのテーマとして提案することとなった。

③ 第２回勤務医アンケートの結果を臨床耳鼻科医会 HP の「勤務医のページ」に掲載した。

④ 日耳鼻 HP で公開された「ドクターバンク」について、臨床耳鼻科医会 HP の「勤務医のページ」にお知らせを掲載した。

⑤ 新たな診療スタイルで成功しているクリニックを推薦してもらうアンケートの結果は「新たなクリニックの診療スタイル像提案委員会」でまとめることとなった。

協議事項

① 第 2 回勤務医アンケート調査で、勤務医より要望の多かったのはライフプランに関することであった。開業などに対して「新たなクリニックの診療スタイル像提案委員会」の活動が、キャリア設計に対して「勤務医のページ」や秋季大会医会セッションの「医師のライフプランの立て方」が有益な情報を提供できると考えられる。退職後の進路支援については、日耳鼻 HP の「ドクターバンク」が有用であると考えられる。また、退職後の進路に関する実態調査の要望があり、今後検討することとした。

11. 学術委員会（吉村理事）

(1) 日耳鼻秋季大会第 6 回医会セッションの現地参加人数について報告した。

(2) 令和 7 年度第 5 回学術委員会について報告した。

① 日耳鼻秋季大会第 7 回医会セッションテーマ案について検討した。

② 嚥下パンフレットの項目別に 1 枚で印刷できる簡易版の作成について検討した。

12. 会報委員会（宮部理事）

(1)令和 6･7 年度第 7 回会報委員会について報告した。

(2)会報第６巻第１号の発行スケジュールについて報告した。

13. 地域ブロックから（東北ブロック、横田理事）

東北ブロック医会長会議で以下の要望が出された。

・過疎地域の医療への取り組み方について考えてほしい。

・在宅医療に対するビジョンを提示してほしい。
・教育の中で専門が細分化されているので、総合的な耳鼻科医を作るような教育をしてほしい（医会から学会に要望できないか)。
・開業を目指す人に対するセミナーなど考えられないか。

14.川嵜会長より

(1) 令和 7 年 9～11 月の報告事項

・加藤勝信財務大臣と厚生労働省医政局産情課安中課長、藤井室長他２名、保険局医療課梅木室長他２名にテーストディスクの再販売について要望した。
・釜萢敏議員、自見はなこ議員、日本医師会江澤和彦常任理事に診療報酬改定に向けて要望した。
・厚生労働省医政局研究開発政策課長谷川学課長に保険医療委員会全国会議の講師依頼をした。また診療報酬について要望した。
・厚生労働省 社会･援護局障害保健福祉医療部企画課 戸部美起課長補佐に今後の新しい臨床研究、社会実装について相談した。
・厚生労働省 矢田貝審議官（医療保険担当)、金川弦暉医療課課長補佐に診療報酬改定に向けて要望した。
・第 34 回日本臨床分科医会代表者会議において医会の活動報告、難聴対策の紹介・協力依頼をした。
・国立オリンピック記念青少年総合センター・大田区総合体育館においてデフリンピックを視察した。

(2)補聴器 3 団体勉強会について報告した。

(3)第 5 回学会・医会連携会議について報告した。

・軽度・中等度難聴の診療の手引きがほぼ完成した。
・難聴対策基本法について各方面に要望を提出している。
・AC ジャパンキャンペーンは令和 8 年度も 3 年連続で施行され、現在作成作業が開始されている。(藤岡副会長)

15.嚥下キーパーソン制度について（野上副会長)

・設立の経緯について説明を受け、運用は日耳鼻と臨床耳鼻科医会が共同で行うこととなった。

16.新たな診療スタイルのクリニック像について（野上副会長)

・3 名の先生に執筆していただき、HP に掲載した。